

第2次札幌市環境基本計画における施策の柱について

【環境首都 SAPPORO(仮)を実現するための施策の柱】

環境首都 SAPPORO(仮)で目指す姿を見据え、2030年度までに取り組むべき施策の柱を以下のように位置付け、各分野において施策の方向性を示す。

【第2次札幌市環境基本計画における計画期間】

2018年度（平成30年度）から2030年度（平成42年度）まで

【施策の柱】

① 低炭素社会の実現

徹底した省エネルギーの推進、再生可能エネルギー導入や新たなエネルギーとして期待される水素エネルギーの活用等により、市内から排出されるCO₂を大幅に削減し、低炭素でスマートな街を目指す。

→施策分野：地球温暖化（適応、雪、モビリティ含む）、エネルギー（水素社会含む）

② 循環型社会の実現

廃棄物の減量やリサイクルのさらなる推進により、排出される廃棄物を大幅に削減するとともに、生産から供給、消費、廃棄にいたる製品やサービスのサプライチェーンの中で限りある資源を再利用しながら、資源が循環する街を目指す。

→施策分野：廃棄物

③ 環境共生社会の実現

自然環境の保全や生物多様性の保全により、自然豊かで多様な生きものと共生できる都市環境を実現し、次世代に継承するとともに、快適な大気環境、良質な土壌と水循環を維持することで、健康で安心した生活のできる街を目指す。

→施策分野：生物多様性、大気、水（土壌含む）

④ 環境施策の横断的・総合的な取組の推進

環境教育や、環境施策を通じた地域コミュニティの活性化や経済の活性化、道内他都市や国内外の都市との連携・交流・協力を進めるとともに、企業やNGO／NPOなどの団体等と協働して取組を進めることで、分野横断的に環境政策の展開を図る。

→施策分野：環境教育、人口減少・少子高齢化、地域コミュニティ、道内連携、経済・社会

◆◆◆環境首都 SAPPORO(仮)を実現する札幌市民のライフスタイル構築◆◆◆

4つの施策の柱を通じて、札幌市における環境保全を進めるとともに、札幌市民が「環境首都 SAPPORO(仮)」を創りあげ、そこに住むことに誇りを覚え、その魅力を発信していくような、新たなライフスタイルを構築していく。